



きらめく まちビト × 土田直

旧名寄市の母村であり、姉妹都市として交流活動を推進してきた山形県鶴岡市(旧藤島町)との職員交流で、平成30年4月から名寄市役所営業戦略室で働いている土田直さん。半年を振り返り、名寄市での生活や鶴岡市の魅力などについてインタビューしました。

冬の資源が豊富な名寄。両市の交流がより一層深まるよう貢献していきたい。

名寄市の第一印象と、半年間住んでみての感想は

「派遣が決まり、初めて訪れる名寄市がどういうところなのか興味があった一方、全く違う業務と慣れない土地での生活に不安でしたが、周りの皆さんに親切にいただき、名寄市での生活に慣れてきました。3月末に初めて北海道に来て、まだ雪が道路に残っていることと道路の幅の広さに驚きました。夏は鶴岡市と比べると涼しく過ごしやすいい環境でした。10月現在ですすでに寒いと感じ、気温差にはまだ慣れないですが、冬はスキーやカーリングなどやってみていいこともあるので、楽しみにしています。

名寄と鶴岡の違いや似ているところは

「名寄市は鶴岡市と比べて冬の気候が大変厳しいと思いますが、それを活用したウィンタースポーツや雪像をつくるイベントなどがあり、冬の資源が豊富なまちだと思います。鶴岡市とは違う、雪質日本一である名寄の雪をこれから満喫したいと思います。

また、名寄市では夏にひまわり畑で「ひまわりまつり」を行っています。実は鶴岡市

にも「月山高原ひまわり畑」があります。距離が遠く離れた両市ですが、共通しているところもあり親近感が湧きました。

鶴岡市の特徴は

「鶴岡のいいところは、伝統行事や地域文化を大切に守り続けているところです。鶴岡天神祭、藤島では獅子踊りなどの行事をはじめ、多くの伝統文化が今も受け継がれています。また、他にも日本で五指に入ると絶賛される赤川花火大会、クラゲの展示種類が世界一を誇る加茂水族館など見どころ満載です。みなさんも一度ぜひ鶴岡市に遊びにいらしてください。

名寄市での仕事内容は

「営業戦略課で、主に観光の仕事をしています。観光キャラクター「なよろう」に関することや各種イベントの仕事をしています。他にもなよろ産業まつりで鶴岡市の特産品を販売し、逆に10月に開催される「つるおか大産業まつり」で名寄市の特産品販売やステージイベントを行い、お互いのPR活動の業務にも携わらせていただいています。私の名寄市への派遣期間は限られたものですが、とても貴重な

経験であると感じています。名寄市で築いた人間関係は財産だと思っていますので、仕事でもそれ以外でも大切にしていきたいです。

市民の皆さんへ

「私は鶴岡市藤島の出身で、名寄市と交流があることは知っていたので、いつか行ってみたいと思っていました。この度名寄市に来ることができ、大変嬉しく思っています。市民の皆さんにもこのページを見て「鶴岡市ってどんなところ？」と少しでも興味を持っていただければ幸いです。また、イベントなどで私を見かけた際には声をかけてくれると嬉しいです。

Profile

土田 直 (つちだ なお)

平成2年鶴岡市藤島生まれ。鶴岡市役所に平成27年に入庁。福祉課生活福祉係に3年間配属され、その後名寄市へ派遣。趣味は旅行。特技は料理で鶴岡の郷土料理も作る。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。